

<b>Title</b>	キリスト教現実主義をめぐって（共同研究報告：ラインホルド・ニーバー研究）
<b>Author(s)</b>	豊川, 慎
<b>Citation</b>	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.20-No.5 : 16-16
<b>URL</b>	<a href="http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=2889">http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=2889</a>
<b>Rights</b>	

聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository for academic archiVE

### 【ラインホルド・ニーバー研究】 キリスト教現実主義をめぐって

2011年2月5日(土)、聖学院本部新館2階集会室において第4回ラインホルド・ニーバー研究会(参加者38名)が開催され、古屋安雄氏(聖学院大学大学院教授)が「キリスト教現実主義をめぐって」と題する講演を行った。以下、古屋氏の講演の概要を記す。

かつてアメリカでラインホルド・ニーバー(1892-1971)と出会い、そのキリスト教現実主義から多くを教えられたものの、ニーバーのベトナム戦争に対する態度などからそのキリスト教現実主義に対しては深い疑問を抱き続けてきたこともまた事実であることを古屋氏は講演の冒頭で述べられた。アメリカの教会はキリスト教現実主義の

ために誤って導かれたのではないかと指摘し、今日においてキリスト教現実主義はもはや肯定できないと主張された。古屋氏はその理由として三つ挙げる。第一に、現代の戦争は「総力戦争」であって、戦闘員と非戦闘員の区別がなく、「非道徳的」であるという点。第二に、現代戦争は拷問や慰安婦など人間を狂気にしてしまう「非人間的」側面があるという点。第三に、ベトナム戦争にも反対したキング牧師の公民権運動に見られるような非暴力に基づいた絶対平和主義の方がニーバーのキリスト教現実主義よりも「より現実的」であるという点である。古屋氏は「ニーバーのキリスト教現実主義に対するJ.H.ヨーダの平和主義(Pacifism)の方が、つまり今日の聖書的現実主義(Biblical Realism)の立場の方が、より現実的だと思う」と述べ、次の言葉で講演を結ばれた。「私たち日本のキリスト者は、ニーバーが言うキリスト教現実主義ではなく、聖書的現実主義に立って、憲法9条を守るべきではなかろうか、というのが今日のニーバー研究発表の私の結論である」。

講演後には、活発な質疑応答が、例えば「平和は単に概念ではなく、どうそれを作り上げていくか、どう実現していくかが大事である」という意見やニーバーのキリスト教現実主義をどう定義するのかといった質問などがなされ、今日のキリスト教倫理における平和という課題を考える上でも実り多い研究会の時となった。

(文責：豊川慎 聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士後期課程)

(2011年2月5日、聖学院本部新館2階)



講演後に活発な質疑応答が行われた。